試行結果の公表

別紙2

発注者ニーズ（コンクリートのひび割れについて遠方から検出が可能な技術）に基づき、技術公募し、29件の技術（カメラ21件、レーザー4件、ロボット4件）について現場で活用・評価。評価結果について維持管理支援サイトにて公表。

（評価結果表の記載内容）

→同じ構造物で試行した技術を同一シートにて公表

- 今回の試行対象とした構造物（橋梁・トンネル等）、（）内は各技術が測定できた箇所・数量
- 今回の試行における対象物までの距離
- 今回の試行に要した人工
- 今回の試行にあたって確認できた技術の特徴
- 検出できたひび割れの数・長さ、幅等に応じて記載
  【例】ひび割れ数
  100%発見＝全て発見
  75%以上発見＝ほぼ全て発見
  50%以上発見＝概ね発見
  50%未満＝ほとんど発見されず
- 本技術による測定が可能な最大測定距離と、検出可能なひび割れ幅（申請者からの参考情報）

テーマ設定型（技術公募）「コンクリートのひび割れを遠方より検出できる技術」試行結果

	技術名称 NETIS登録状況 開発者	C00　コンクリートのひび割れを検出する技術 未登録 ○○株式会社	C01　コンクリートのひび割れを検出する技術 未登録 ××株式会社
	概要	○○…。	○○…。
	測定状況	写真	写真
試行条件	対象物（箇所）	橋梁A（○○、○○、○○）	橋梁A（○○、○○、○○）
	測定距離（今回）	○m	○m
	従来点検方法	目視によるひび割れ調査	目視によるひび割れ調査
技術の特徴	必要な機器・装置等（点検）	○○○○○	○○○○○
	必要な能力・資格等（点検）	○○○○○	○○○○○
	現場制約（点検）	○○により撮影に支障が生じた。	○○により撮影に支障が生じた。
	必要な機器・装置等（分析）	○○○○○	○○○○○
	必要な能力・資格等（分析）	○○○○○	○○○○○
試行結果	時間	000分・人	000分・人
	設置人工	000分・人	000分・人
	測定人工	000分・人	000分・人
	撤去人工	000分・人	000分・人
	安全性	○○○に課題あり	○○○に課題あり
	施工性	○○○により向上が見込まれる。	○○○により向上が見込まれる。
	測定最小幅（今回）	00mm	00mm
	優れた点	・○○が可能である。 ・……。	・○○が可能である。 ・……。
	留意点	・○○については留意が必要。 ・……。	・○○については留意が必要。 ・……。
	試行調査結果	【橋台】 ○○○…。 【床板・主桁】 ○○○…。 【橋脚】 ○○○…。	【橋台】 ○○○…。 【床板・主桁】 ○○○…。 【橋脚】 ○○○…。
	【参考】		
技術情報	最大測定距離	00m	00m
	最小測定幅	00mm	00mm